



Tさん

自転車を押しながら横断歩道を渡ろうとしていたら、車と接触した。始めは何が起きたか分からなかった。

左の人差し指と両足を打撲する怪我をした。車がスピードを落としたから止まるだろうと思いついたら事故が起きた。

今は、完全に車が止まるまで横断歩道を渡らないようにしている。



あ 事故に遭いました。

Mさん

下り坂で自転車を運転しているとき、T字の曲がり角をゆっくり曲がったら、車が来ていて接触した。まさか車が来るとは思わなかった。

今は、事故が起きた場所だけでなく、車はどこからでも出てくることを認識し、常に左右の確認、車に対する意識を持って行動している。



Tさん

車の運転者が左折しようとして右から車が来ないか確認をしていて、自分が先に行っていると思い、動いたら車も動き出し、接触した。

初めての事故で怖かった。相手がこちらの存在に気づいていないし、自分の判断がいけないと感じた。

以前よりも常に安全意識を持つようになった。

